

付録 調査票（勤労者労働基本調査）



この調査は、市内の事業所を対象に、労働者の実態や雇用の状況などを把握するために実施するものです。ご多忙中とは存じますが、本調査は限られた数の抽出調査ですので、ぜひご協力くださいますようお願いいたします。

なお、調査票に記入していただきました事項については、統計以外の目的に使用したり、調査内容を他にもらしたりすることは絶対にありませんので、ありのままお答えくださいますようご協力をお願いいたします。

平成27年7月
鹿児島市雇用推進課

—ご記入にあたってのお願い—

- 調査票は平成27年7月1日現在で記入してください。
- ご回答の際は、太線で囲っている欄に記入してください。
(回答は、該当する番号に○をつけていただくか、記入欄に数字をご記入ください。)
- 設問で特にお願いしていない限り、支社、支店、出張所の場合は、鹿児島市内の支社、支店、出張所の現状でお答えください。
- 出向者等については、賃金等を負担している事業所に所属しているものとしてお答えください。
- その他、この調査票に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

—お問い合わせ先—

【調査主体】 鹿児島市 雇用推進課

鹿児島市山下町11番1号

TEL：099-216-1325

【調査機関】 株式会社東京商工リサーチ鹿児島支店

鹿児島市中央町9番1号鹿児島中央第一生命ビルディング

TEL：099-250-1788

※貴社の事業所名等をご記入ください。

事業所名	
ご連絡先	(住所) (電話番号)
記入担当者	(所属・職) (お名前)

1. 貴社の状況について

(1) 貴社の業種は何ですか。【1つに○】

1 農林水産業	2 鉱業	3 建設業	4 製造業
5 電気・ガス熱供給・水道業	6 情報通信業	7 運輸業、郵便業	8 卸売・小売業
9 金融・保険業	10 不動産業・物品賃貸業	11 宿泊業・飲食サービス業	12 医療、福祉
13 教育、学習支援業	14 サービス業		

(2) 本社の所在地はどこですか。【1つに○】

1 鹿児島市内	2 鹿児島県内（鹿児島市以外）	3 鹿児島県外・外国
---------	-----------------	------------

(3) 貴社の従業員は何人ですか。鹿児島市内の事業所規模についてお答えください。【1つに○】

1 9人以下	2 10～29人	3 30～49人	4 50～99人
5 100～299人	6 300人以上		

※ここにいる従業員は、正規従業員、パートタイム労働者、契約社員、派遣労働者等、全ての従業員を指します。

※以下の設問については、貴事業所についてお答えください。

2. 労働者および賃金の状況について

※下記の設問については「正規従業員」についてお答えください。

(1) 正規従業員数を、性別・年齢別でご記入ください。【数字を記入】

年齢	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～65歳未満	65歳以上	計
男	人	人	人	人	人	人	人	人
女	人	人	人	人	人	人	人	人
計	人	人	人	人	人	人	人	人

(2) 平成27年6月分の平均年齢、正規従業員の基本給および諸手当についてご記入ください。【数字を記入】

	平均年齢	基本給の平均額（月額）	諸手当の平均額（月額） （家族手当、住宅手当、通勤手当等） ※時間外手当では除く
男	. 歳	円	円
女	. 歳	円	円
計	. 歳	円	円

※正規従業員の平均年齢は、小数点2位以下は四捨五入してください。

※1円未満の金額は四捨五入してください。

(3) 新規学卒者の初任給を記入してください。【数字を記入】

	中卒	高卒	短大・高専卒	大卒
男	千円	千円	千円	千円
女	千円	千円	千円	千円

※ここにいる初任給とは、基本給のことであり、各種手当は含みません。

※職種により賃金が異なる場合は、主な職種で記入してください。（千円未満は四捨五入）

3. 職場環境について

A 労働時間および有給休暇

※下記の設問については「正規従業員」についてお答えください。

- (1) 過去1年間（平成26年度）の1か月間の平均時間外勤務時間（1人当たり）はどの程度ですか。【1つに○】

1 10 時間以下	2 10 時間超～20 時間以下	3 20 時間超～30 時間以下
4 30 時間超～40 時間以下	5 40 時間超	6 残業なし

- (2) 時間外勤務時間の削減について、どのような取組を実施していますか。【いくつでも○】

1 残業しない日の設定	2 入退時間のシステム管理
3 長時間労働をさせた上司への罰則	4 長時間労働をした従業員本人に対する罰則
5 長時間労働削減を評価する仕組みづくり	6 上司の声がけ
7 会議の時間・回数を制限	8 残業の事前申請・承認制度
9 オフィスの強制消灯	10 人員の増員
11 職場内での業務分担	12 取り組んでいない
13 その他（	）

- (3) 年次有給休暇の取得率（取得日数計/付与日数計×100(%)）はどのようになっていますか。平成26年度の実績でお答えください。【1つに○】

1 10%未満	2 10%以上30%未満	3 30%以上50%未満
4 50%以上70%未満	5 70%以上90%未満	6 90%以上

B 育児・介護への支援

※下記の設問については「正規従業員」についてお答えください。

- (1) 育児休業制度、介護休業制度はありますか。【1つに○】

育児休業制度を	1 就業規則などで定めている	2 特に定めていない
介護休業制度を	1 就業規則などで定めている	2 特に定めていない

- (2) 育児休業、介護休業の取得状況はどの程度ですか。平成26年度の状況についてお答えください。【数字を記入】

	対象者		取得者	
育児休業	男性（ ）人	女性（ ）人	男性（ ）人	女性（ ）人
介護休業	男性（ ）人	女性（ ）人	男性（ ）人	女性（ ）人

- (3) 貴事業所の職場は仕事と育児・介護が両立できる環境を提供していると思いますか。【1つに○】

1 そう思う	2 ややそう思う	3 あまり思わない
4 全く思わない	5 どちらともいえない	

C 仕事と生活のバランス(ワーク・ライフ・バランス)

- (1) 貴社ではワーク・ライフ・バランスの推進を担当する部署や社員がいますか。【1つに○】

1 独立した専任部署がある	2 総務・人事系の部署に専任がいる
3 総務・人事系以外の部署に専任がいる	4 担当は置いていない

- (2) 仕事と生活のバランスを図るため、貴社で取り組まれている制度はありますか。【いくつでも○】

1 短時間勤務制度	2 フレックスタイム制度	3 変形労働時間制度
4 裁量労働制	5 計画的休暇取得のルールづくり	6 時間単位・半日単位の休暇制度作り
7 在宅勤務・テレワーク制度	8 休暇取得状況を人事評価に反映	9 育児・介護休暇取得の奨励
10 朝方勤務と早期退社の奨励	11 休みが取りやすいように工夫された名称の休暇制度の導入 (※)	
12 特に取り組んでいない	13 その他 ()	

※例えば、アニバーサリー休暇、ファミリー休暇、ボランティア休暇など

4 ダイバーシティについて

※ここでいう「ダイバーシティ」とは、さまざまな違いを尊重して受け入れ、「違い」を積極的に活かすことにより、変化し続けるビジネス環境や多様化する顧客ニーズに最も効果的に対応し、企業の優位性を創り上げることをいいます。

A 女性の就労

- (1) 貴社では女性の採用に関して、どのように取り組んでいますか。【1つに○】

1 積極的に採用している	2 採用枠を設けて採用している
3 あまり採用に関して積極的ではない	4 採用していない

- (2) 女性従業員に身に付けてほしいスキルや能力は何ですか。【いくつでも○】

1 職業意識・勤労意欲	2 マナー・社会常識
3 遵法精神・コンプライアンス意識	4 業務に役立つ専門知識や技能
5 コミュニケーション能力	6 語学力
7 企画・立案力	8 パソコン処理能力
9 リーダーシップ	10 その他 ()

- (3) 貴社では女性の管理職への登用を積極的に行っていますか。【1つに○】

1 行っている	2 ある程度行っている
3 行っていない	4 検討中

- (4) あなたの職場で女性管理職を増やすためには、どのような対応が有効だと思いますか。【いくつでも○】

1 女性管理職数・割合の目標設定	2 男女平等の評価
3 仕事と家庭生活を両立できる仕組みづくり	4 勤務時間ではなく成果による評価
5 在宅勤務・フレックスタイムなどの多様な働き方の推進	6 女性のキャリア教育
7 その他 ()	8 わからない

[(5)～(6)については、(1)で「1 積極的に採用している」「2 採用枠を設けて採用している」と回答した場合のみお答えください。]

- (5) 女性を採用している一番の理由は何ですか。【1つに○】

1 女性ならではの視点や感性を活かせる	2 職場の雰囲気良くなる
3 女性に向いている業務が多い	4 会社の業績に好影響がある (あった)
5 短時間労働など時間の融通がきく	6 その他 ()

- (6) 貴社の女性従業員は、どのような業務を主に行っていますか。【いくつでも○】

1 営業・販売	2 経理・財務	3 企画・管理	4 総務・人事・法務
5 マーケティング	6 研究開発	7 システム開発	8 現場・作業
9 その他 ()			

[(7) については、(1) で「3 あまり採用に関して積極的ではない」「4 採用していない」と回答した場合のみお答えください。]

(7) 女性の採用に関する課題をどのようにお考えですか。【いくつでも〇】

1 結婚や出産でやめてしまう	2 出産育児で休職する可能性がある
3 時間外労働を頼みにくい	4 重要な仕事を任せにくい
5 業務が限られてしまう	6 取引先が嫌う
7 その他 ()	

B 高齢者の就労

(1) これまでに、60歳以上の高齢者を新たに雇用したことがありますか。(パート、契約社員等を含む) 【1つに〇】

1 現在も雇用している
2 過去に雇用したことがあるが、現在は雇用していない
3 これまでに雇用したことはない

[(2) については、(1) で「1 現在も雇用している」と回答した場合のみお答えください。]

(2) 60歳以上の従業員の雇用人数および年齢構成についてご記入ください。【数字を記入】

年 齢	60 歳以上	65 歳以上	70 歳以上	75 歳以上	計
	65 歳未満	70 歳未満	75 歳未満		
男	人	人	人	人	人
女	人	人	人	人	人
計	人	人	人	人	人

(3) 60歳以上の従業員に期待することは何ですか。【いくつでも〇】

1 技能・経験の承継	2 職場のまとめ役、調整役
3 人手不足の解消	4 報酬以上の成果
5 簡易な業務の処理	6 難解な業務の処理
7 その他 ()	

(4) 高齢者の雇用(パート、契約社員等を含む)を促進するために必要な行政の支援は何ですか。【いくつでも〇】

1 雇用継続給付金などの助成	2 雇用に対する企業への助成
3 教育訓練・能力開発への助成	4 職場開発
5 健康管理への助成	6 労働環境改善に対する助成
7 就職斡旋	8 企業間の労働移動の斡旋
9 カウンセリング(相談)制度	10 その他 ()

C 障がい者の就労

(1) これまでに障がい者を雇用したことがありますか。【1つに〇】

1 現在雇用している
2 過去に雇用したことがあるが、現在は雇用していない
3 これまでに雇用したことはない

[(2) については、(1) で「1 現在雇用している」と回答した場合のみお答えください。]

(2) 障がい者の雇用人数および年齢構成についてご記入ください。【数字を記入】

年齢	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上	計
男	人	人	人	人	人	人	人
女	人	人	人	人	人	人	人
計	人	人	人	人	人	人	人

[(3) は、(1) で「2 過去に雇用したことがあるが、現在は雇用していない」「3 これまでに雇用したことはない」と回答した場合のみお答えください。]

(3) 障がい者を雇用していない理由は何ですか。【いくつでも〇】

1 雇用に適した職場がない（あるいは新設できない）から	2 接し方がわからないから
3 職場設備の改善（バリアフリー化等）が必要であるから	4 安全が確保できないから
5 作業効率が落ちたり、品質管理面で不安だから	6 支援体制が整備されていないから
7 求人条件にあう障がい者がいないから	8 以前トラブルがあり、消極的になったから
9 その他（	）

(4) 障がい者の法定雇用率を満たしていますか。【1つに〇】

1 法定雇用率を満たしている	2 法定雇用率を満たしていない
3 従業員数が少ないため雇用義務が発生しない	4 その他（
	）

D 外国人の就労

(1) これまでに外国人を雇用したことがありますか。【1つに〇】

1 現在雇用している
2 過去に雇用したことがあるが、現在は雇用していない
3 これまでに雇用したことはない

[(2) については、(1) で「1 現在雇用している」と回答した場合のみお答えください。]

(2) 外国人の雇用人数および年齢構成についてご記入ください。【数字を記入】

年齢	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上	計
男	人	人	人	人	人	人	人
女	人	人	人	人	人	人	人
計	人	人	人	人	人	人	人

[(3) は、(1) で「2 過去に雇用したことがあるが、現在は雇用していない」「3 これまでに雇用したことはない」と回答した場合のみお答えください。]

(3) 外国人を雇用していない理由は何ですか。【いくつでも〇】

1 雇用に適した職場がない（あるいは新設できない）から	2 接し方がわからないから
3 求人条件にあう外国人がいないから	4 安全が確保できないから
5 作業効率が落ちたり、品質管理面で不安だから	6 以前トラブルがあり、消極的になったから
7 その他（	）

5 非正規従業員について

※以下の質問にある「パートタイム労働者」、「契約社員」、「派遣労働者」の定義は、次のとおりです。

■パートタイム労働者	正社員より1日の労働時間が短いか、1週の所定労働日数が少ない者
■契約社員	専門的能力の発揮を目的として雇用期間を定めて契約する者
■派遣労働者	「労働者派遣法」に基づく派遣元事業所から派遣された者

A パートタイム労働者

(1) 現在（7月1日）、パートタイム労働者を雇用していますか。【1つに○】

1 雇用している	2 雇用していない
----------	-----------

[(2) ~ (4) については、(1) で「1 雇用している」と回答した場合のみお答えください。]

(2) パートタイム労働者の雇用人数および年齢構成についてご記入ください。（7月1日現在）【数字を記入】

年齢	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上	計
男	人	人	人	人	人	人	人
女	人	人	人	人	人	人	人
計	人	人	人	人	人	人	人

(3) パートタイム労働者が従事している職種はどのようなものですか。【いくつでも○】

1 事務	2 販売	3 接客	4 現場作業
5 専門技術	6 その他（ ）		

(4) パートタイム労働者の1時間当たりの平均賃金はいくらですか。【数字を記入】

	円
--	---

B 契約社員

(1) 現在（7月1日）、契約社員を雇用していますか。【1つに○】

1 雇用している	2 雇用していない
----------	-----------

[(2) ~ (4) については、(1) で「1 雇用している」と回答した場合のみお答えください。]

(2) 契約社員の雇用人数および年齢構成についてご記入ください。（7月1日現在）【数字を記入】

年齢	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上	計
男	人	人	人	人	人	人	人
女	人	人	人	人	人	人	人
計	人	人	人	人	人	人	人

(3) 契約社員が従事している職種はどのようなものですか。【いくつでも○】

1 事務	2 販売	3 接客	4 現場作業
5 専門技術	6 その他（ ）		

(4) 契約社員の1時間当たりの平均賃金はいくらですか。【数字を記入】

	円
--	---

※月給制の場合は、賃金÷月の所定労働時間数で計算します。

C 派遣労働者

- (1) 現在（7月1日）、派遣労働者はいますか。【1つに〇】

1 いる	2 いない
------	-------

[(2) ~ (4) については、(1) で派遣労働者がいると回答した場合のみお答えください。]

- (2) 派遣労働者の数および年齢構成についてご記入ください。（7月1日現在）【数字を記入】

年齢	20歳未満	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳~49歳	50歳~59歳	60歳以上	計
男	人	人	人	人	人	人	人
女	人	人	人	人	人	人	人
計	人	人	人	人	人	人	人

- (3) 派遣労働者が従事している職種はどのようなものですか。【いくつでも〇】

1 事務	2 販売	3 接客	4 営業
5 専門26業務	6 現場作業	7 その他（	）

- (4) 派遣労働者の1時間当たりの平均賃金はいくらですか。【数字を記入】

	円
--	---

※月給制の場合は、賃金÷月の所定労働時間数で計算します。

6 人材確保について

- (1) 貴社の人員体制は十分ですか。【1つに〇】

1 足りている	2 足りていない（人手不足）	3 どちらともいえない
---------	----------------	-------------

- (2) 新規卒者（28年3月卒業予定）の正規従業員の採用計画はございますか。【1つに〇】

1 ある	2 ない	3 検討中
------	------	-------

- (3) 人材確保に関して、現在、どのように取り組んでいますか。また、今後、どのように取り組もうとお考えですか。【いくつでも〇】
<現在の取り組み>

1 採用予算の拡大	2 学生のインターンシップの受入
3 中途採用の推進	4 処遇改善（賃金アップなど）
5 企業の魅力の情報発信	6 市内で開催される企業説明会への積極的な参加
7 市外で開催される企業説明会への積極的な参加	8 キャリアアップのための機会の提供
9 育児・介護ができる職場環境の整備	10 休みが取りやすい名称の付いた休暇制度の導入（※）

※例えば、アニバーサリー休暇、ファミリー休暇、ボランティア休暇など

<今後の取り組み>

1 採用予算の拡大	2 学生のインターンシップの受入
3 中途採用の推進	4 処遇改善（賃金アップなど）
5 企業の魅力を情報発信	6 市内で開催される企業説明会への積極的な参加
7 市外で開催される企業説明会への積極的な参加	8 キャリアアップのための機会の提供
9 育児・介護ができる職場環境の整備	10 休みが取りやすいように工夫された名称の休暇制度の導入（※）

※例えば、アニバーサリー休暇、ファミリー休暇、ボランティア休暇など

(4) 貴社が従業員に求めるスキルや能力は何ですか。【いくつでも〇】

1 職業意識・勤労意欲	2 マナー・社会常識
3 遵法精神・コンプライアンス意識	4 業務に役立つ専門知識や技能
5 コミュニケーション能力	6 語学力
7 企画・立案力	8 パソコン処理能力
9 リーダーシップ	10 その他 ()

(5) 貴社では従業員の定着率向上のために何が一番重要だとお考えですか。【1つに〇】

1 賃上げなど給与の充実	2 福利厚生の充実	3 非正規社員の正規雇用
4 教育・訓練体制の整備・充実	5 適正な評価	6 適正な業務量の管理
7 職場の雰囲気	8 休暇の取りやすさ	9 その他 ()

[(6) ~ (8) は、(1) で「2 足りていない(人手不足)」と回答した場合のみお答えください。]

(6) 人手が不足している職種は何ですか【いくつでも〇】

1 営業・販売	2 経理・財務	3 企画・管理	4 総務・人事・法務
5 マーケティング	6 研究開発	7 システム開発	8 現場・作業
9 その他 ()			

(7) 人手不足解消のためにどのような求人活動を行っていますか。【いくつでも〇】

1 ハローワークを活用した求人	2 民間の職業紹介所を活用した求人	3 人材派遣会社を活用した求人
4 インターネットを活用した求人	5 企業の合同説明会を活用した求人	6 新聞等への求人広告折込
7 何もやっていない	8 その他 ()	

(8) 貴社では、現在どのような人材を求めていますか。【性別、国籍については〇を1つ、年齢、雇用形態についてはいくつでも〇】

性別	1 男	2 女	3 こだわらない
国籍	1 日本	2 こだわらない	
年齢	1 20代	2 30代	3 40代
	4 50代	5 60代	6 こだわらない
雇用形態	1 正社員・正職員	2 契約社員	3 派遣労働者
	4 パートタイム労働者	5 アルバイト	6 その他

7 雇用対策に対する助成について

(1) 雇用対策として各種助成金等の助成が行われていますが、これらの制度について知っていますか。

知っているものに〇をつけてください。【いくつでも〇】

1 特定求職者雇用開発助成金 (国)	2 トライアル雇用奨励金 (国)
3 鹿児島市就職困難者等雇用奨励金	4 鹿児島市トライアル雇用支援金
5 キャリアアップ助成金 (国)	6 キャリア形成助成金 (国)
7 職場定着支援助成金 (国)	8 両立支援等助成金 (国)
9 子育て期短時間勤務支援助成金 (国)	10 事業所内保育施設設置・運営等支援助成金 (国)
11 職場意識改善助成金 (国)	

(2) 下記の各種助成金等のうち、実際に助成を受けたことがある制度は何ですか。【いくつでも〇】

1 特定求職者雇用開発助成金 (国)	2 トライアル雇用奨励金 (国)
3 鹿児島市就職困難者等雇用奨励金	4 鹿児島市トライアル雇用支援金
5 キャリアアップ助成金 (国)	6 キャリア形成助成金 (国)
7 職場定着支援助成金 (国)	8 両立支援等助成金 (国)
9 子育て期短時間勤務支援助成金 (国)	10 事業所内保育施設設置・運営等支援助成金 (国)
11 職場意識改善助成金 (国)	

8 その他

- (1) 平成27年12月より施行のストレスチェック制度をご存じですか。【1つに〇】

1 知っている	2 なんとなく知っている	3 知らない
---------	--------------	--------

※ ストレスチェックとは、事業者が労働者に対して行う心理的な負担の程度を把握するための検査をいいます。

※ 従業員数50人未満の事業所は、当分の間努力義務となります。

- (2) 貴社では、ストレスチェックの実施に向けた準備を行っていますか。【1つに〇】

1 行っている	2 これから行う予定	3 行う予定はない
---------	------------	-----------

- (3) パワーハラスメント、セクシュアルハラスメント、マタニティーハラスメント等の防止に関する措置を実施していますか。

【それぞれ1つに〇】

①社内広報・啓発資料等に記載	1 している	2 していない
②就業規則に記載	1 している	2 していない
③研修・講習等で従業員に説明	1 している	2 していない
④相談窓口の設置	1 している	2 していない

- (4) 魅力ある職場づくりのために、経営コンサルティングを受けることについてどうお考えですか。【1つに〇】

1 是非受けたい	2 経費があまりかからないなら受けたい
3 経費がかかるので受けることが難しい	4 受けたくない
5 その他 ()	

- (5) 今後の雇用対策等についてご意見・ご要望などをご自由にお書きください。

--

以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

8月12日(水)までに同封の返信用封筒に入れ、ご返送ください。